

CRES : 仮想、ホスト、およびハードウェア ESA のアカウント プロビジョニングの設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[仮想およびホステッド ESA の CRES アカウント プロビジョニング](#)

[ハードウェア ESA の CRES アカウント プロビジョニング](#)

[アカウント管理者通知およびアカウント検証](#)

[CRES アカウント番号の作成](#)

[CRES バージョンの確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、暗号化プロファイルを作成し、Cisco Registered Envelope Service (CRES) アカウントの作成とともに Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) のアカウント プロビジョニングを完了する方法について説明します。

注: 現在、仮想およびホステッド ESA とハードウェア ESA の間には違いがあります。 それらについては、このドキュメントで説明しています。

この記事では、次のエラーの修正方法についても説明します。「Unable to provision profile <profile_name> for reason: Cannot find account」エラーは通常、暗号化プロファイルの追加を試みたときに、仮想およびホステッド ESA から出力されます。このエラーが表示された場合は、仮想およびホステッド ESA の項に示す手順を実行してください。

前提条件

IronPort 電子メール暗号化機能キーが、ESA にインストールされていることを確認します。ESA GUI の [System Administration] > [Feature Keys] もしくは、ESA CLI の **featurekey** で確認します。

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

設定

仮想およびホステッド ESA の CRES アカウント プロビジョニング

暗号化プロファイルのプロビジョニングを試みたときに、仮想およびホステッド ESA に次のエラーが発生します。

シスコのサポートを得て、CRES プロビジョニング アカウントを完了する必要があります。次の情報を指定して、stg-cres-provisioning@ciseco.com への電子メール リクエストを開始します。

- アカウント名 (正確な会社名を指定します。この名前がリストされるために必要です)

ホステッド カスタマー アカウントである場合は、アカウント名の末尾に、「<アカウント名>HOSTED」というように注釈を加えます。

- アカウント管理者として使用される電子メール アドレス (対応する管理者電子メールアドレスを指定します)
- ESA の 完全なシリアル番号 (*)
- 管理の目的で CRES アカウントにマッピングするカスタマー アカウントのいずれかのドメインまたはすべてのドメイン

(*) アプライアンスのシリアル番号は、GUI から [System Administration] > [Feature Keys]、あるいはコマンド バージョンを実行している場合はアプライアンス CLI で表示できます。

注: すでにプロビジョニングした CRES アカウントが存在する場合、以前に使用した会社名もしくは CRES アカウントを入力してください。これにより、新規のアプライアンスのシリアル番号は正しいアカウントに追加され、会社情報やプロビジョニングの重複を避けることができます。

注: アプライアンスのシリアル番号は、1 つの CRES アカウントにのみ登録することができます。1 つの CRES アカウントに、会社に登録されている複数のアプライアンスがある可能性があります。

stg-cres-provisioning@cisco.com に送信されたリクエストは、遅くとも 1 営業日中に処理されます。シリアル番号の登録時点、または新規の CRES アカウントのプロビジョニングが完了した時点で、確認の電子メールが送信されます。関連付けられたアカウントの管理者としてリストされた時点で、管理者アカウント用の電子メールアドレスが通知を受信します。

ESA で暗号化プロファイルの作成をすでに試行済みの場合、次の手順を実行します。

1. ESA の GUI から [Security Services] > [Cisco IronPort Email Encryption] > [Email Encryption Profiles] に移動します。
2. [Re-provision] をクリックします。これで [Provisioned] となり完了します。
3. もしそうならない場合、ESA で暗号化プロファイルを作成するため、続けて次の項の手順を実行します。

ハードウェア ESA の CRES アカウント プロビジョニング

CRES バージョン 4.2 において、ハードウェア ESA には自動プロビジョニング機能が備わったので、電子メールでのアカウント作成リクエストをする必要がなくなりました。

ハードウェア ESA 用に、次の手順に従って暗号化プロファイルのプロビジョニングを完了します。

1. まだ完了していない場合、ESA GUI から、[Security Services] > [Cisco IronPort Email Encryption] に移動し、機能を有効化し、エンド ユーザ ライセンス契約書 (EULA) を承認します。
2. [Edit Settings] をクリックします。

[Email address of the encryption account administrator] フィールドに管理電子メールアドレスを入力し、[Submit] をクリックします。
3. [Add Encryption Profile] ボタンを使用して暗号化プロファイルを作成します。
4. プロファイルの作成時には意味のあるプロファイル名を入力します。これにより、暗号化に使用するために作成したメッセージまたはコンテンツ フィルタと、後で関連付けできるようになります。

5. 完了したら、[Submit] をクリックします。

新規に作成したプロファイルは、[Not Provisioned] とリストされます。先へ進む前に、変更を確定する必要があります。

6. 変更を確定した後、プロビジョニング プロセスを完了するために、[Provision] をクリックします。

7. プロビジョニングが完了すると、バナー通知が表示され、プロファイルのプロビジョニング ボタンは [Re-provision] に変わります。

暗号化プロファイルが完了します。これでアプライアンスから CRES で正常にメールを暗号化できます。

アカウント管理者通知およびアカウント検証

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

[Email address of the encryption account administrator] に以前に指定した電子メールアドレスが、アカウント管理者ステータスの通知を受信します。

アカウント管理者通知を受信したら、[CRES 管理者](#)サイトにログインし、アカウントを確認してください。ログインすると、アカウント サマリで作成されたアカウント番号が表示されます。次の情報を指定して、stg-cres-provisioning@cisco.com への電子メール リクエストを開始します。

- 口座番号
- アカウント名 (Account Name)
- 管理の目的で CRES アカウントにマッピングするアカウントのいずれかのドメインまたはすべてのドメイン

これにより、お使いのアカウントは CRES で登録されたすべてのドメイン アカウントに対する完全な可視性が得られるようになります。

CRES アカウント番号の作成

CRES アカウント番号は、アプライアンスの契約情報に基づいて作成されます。アカウント番号は、Global Ultimate (GU) ID に基づいて生成され、アカウント名はインストール先サイト名に基づいて生成されます。検証するため、正しい Cisco Connection Online (CCO) と権限が得られていることを確認して、[Cisco Service Contract Center](#) (CSCC) をチェックします。

CRES バージョンの確認

<http://res.cisco.com/admin> から、画面右上隅にある [\[About\]](#) ハイパーリンクを選択します。現在の CRES のバージョンがポップアップに表示されます。

例：

トラブルシューティング

このセクションでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。

ESA が正常に CRES サーバと通信できることを確認するには、次のコマンドを入力してください。

```
myesa.local> telnet res.cisco.com 443
```

```
Trying 184.94.241.74...
Connected to 184.94.241.74.
Escape character is '^]'.
^]
telnet> quit
Connection closed.
```

関連情報

- [ESA の電子メール暗号化の設定例](#)
- [CRES キー サーバの IP とホスト名](#)
- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)